

## 清掃作業従事者研修カリキュラム例

## 〈カリキュラムの考え方〉

- 1.7時間以上を確保する。
- 2.科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- 3.2年目以降のカリキュラムは、研修内容から取捨選択し、設定する。

## 1年目カリキュラム

| 研修科目         | 研修内容   | 時間   |
|--------------|--|------|
| 機械器具の種類と使用方法 | 器具の目的と機能/機器の目的と機能/ごみ収集/ほこりや汚れの取り方/タオル、乾式モップ、ほうきの使い方/真空掃除機、床みがき機の使い方/洗浄の種類と目的/主な床の洗い方 ※必要に応じて実技訓練を行う。 | 180分 |
| 資材の種類と使用方法   | 洗剤、合成洗剤の組成/洗剤使用上の注意/洗剤と洗浄剤の環境への影響/床維持剤の組成、水性樹脂床維持剤の使い方/廃棄物処理の目的/廃棄物処理作業の流れ/処理作業の要点と注意事項/廃棄物集積所の整理整頓  | 60分  |
| 安全及び衛生       | 清掃作業の労働災害/作業安全のための注意/第三者に対する配慮、労働衛生  | 60分  |
| 建築物の環境衛生行政   | 清掃の目的/建築物の清掃と環境衛生/清掃技術の発達/建築物衛生法と登録制度  | 60分  |
| 作業従事者の責任と任務  | 従事者の自覚/作業上の注意事項/サービス精神とマナー/団体行動と人間関係/個人情報保護法   | 60分  |

## 2年目以降カリキュラム

| 研修科目                  | 研修内容  | 時間  |
|-----------------------|---|-----|
| 機械器具・資材の使用<br>方法(床材別) | 弾性床材/硬性床材/繊維床材/木質床材/繊維床材の特徴/カーペット床の維持管理/最新の清掃技術<br>※必要に応じて実技訓練を行う。      | 90分 |
| 機械器具・資材の使用<br>方法(場所別) | 玄関まわりとロビーの清掃/廊下、階段の清掃/エレベータ、エスカレータの清掃/外周、その他の清掃/最新の清掃技術 ※必要に応じて実技訓練を行う。 | 90分 |
| 安全及び衛生                | 清掃作業の労働災害/作業安全のための注意/建築物環境や第三者に対する配慮、労働衛生                               | 60分 |

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

|             |  |     |
|-------------|--|-----|
| 建築物の環境衛生行政  | 建築物衛生法/下水道法/水質汚濁防止法                          | 60分 |
| 作業従事者の責任と任務 | 従事者の自覚/作業上の注意事項/サービス精神とマナー/団体行動と人間関係/個人情報保護法 | 60分 |
| 環境問題        | 廃棄物/洗剤や床維持剤の廃液 等                             | 60分 |
| 最新技術の動向     | 最新技術の動向                                      | 60分 |